



中山製鋼所

NAKAYAMA STEEL WORKS, LTD.

2023年度 第1四半期決算

2023年8月4日

2023年度1Q損益の概要

- 売上高は販売価格は上昇するも、鋼材販売数量の減少により▲4億円
- 販売価格の上昇および主原料価格の下落によるスプレッド改善など+5億円 (営業利益、経常利益)
- 売上高は前年同期比で▲1%、経常利益は同+16%の減収増益

(単位：億円)

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減	
			金額	増減率
売上高	478	474	▲ 4	▲0.8%
営業利益	33	38	+5	+15.3%
経常利益	33	38	+5	+15.9%
ROS	6.9%	8.1%	-	+1.2%
当期純利益	31	29	▲ 2	▲6.8%

2023年度上期、通期の業績見通し

<2023年度上期（前年同期比）>

- 売上高は鋼材販売数量は前年同期並み、販売価格は下落し▲13億円
- 経常利益は鋼材スプレッドは改善、エネルギーコスト等の製造コストの上昇により▲18億円

<2023年度（前期比）>

- 売上高は鋼材販売数量は前期並み、販売価格は下落し▲85億円
- 経常利益は下期の販売価格下落に伴う鋼材スプレッド悪化を見込み▲24億円

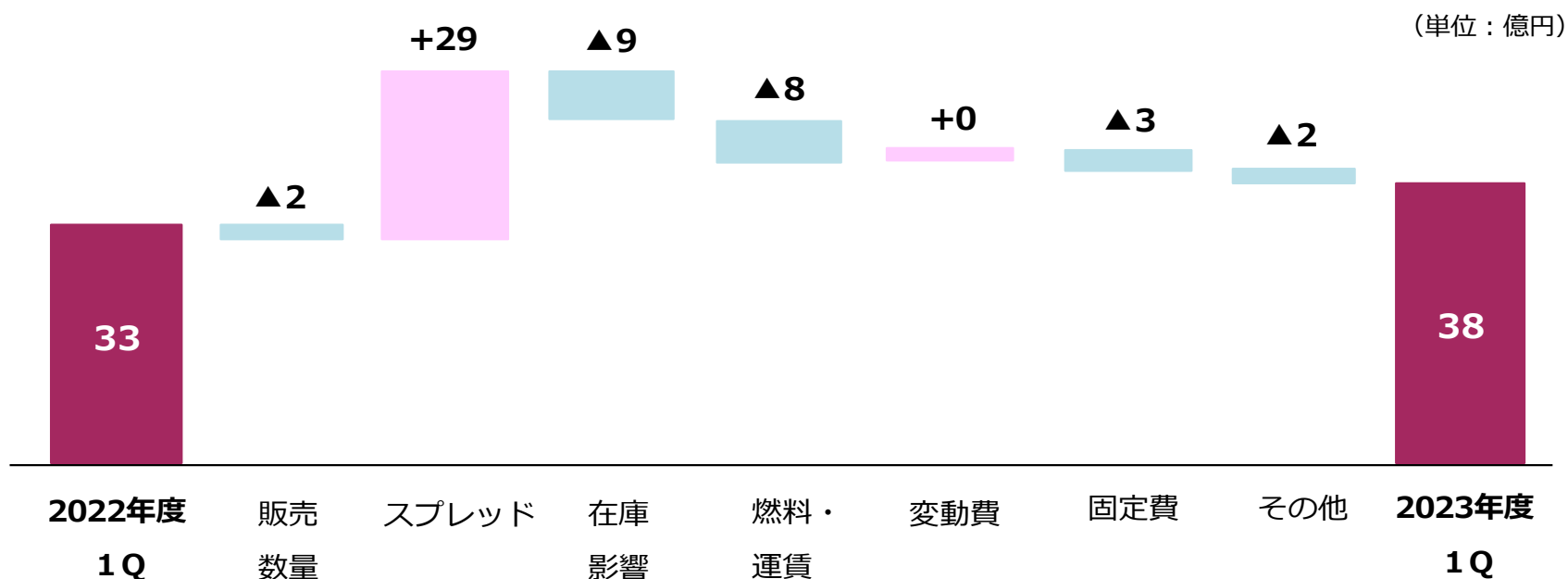
（単位：億円）

	2022上期		2022 年度	2023上期		2023 年度	増減	
	1Q			1Q			上期	年度
売上高	478	933	1,885	474	920	1,800	▲ 13	▲ 85
営業利益	33	78	136	38	61	114	▲ 17	▲ 22
経常利益	33	77	134	38	59	110	▲ 18	▲ 24
ROS	6.9%	8.3%	7.1%	8.1%	6.4%	6.1%	-	-
当期純利益	31	60	102	29	34	68	▲ 26	▲ 34

経常利益の増減分析 ～ 2022年度1Q 対 2023年度1Q

<前年同期比>

- 鋼材販売数量減少 2022.1Q : 288千ト、2023.1Q : 280千ト
- 鋼材販売価格上昇 2022.1Q : 128千円/ト、2023.1Q : 132千円/ト
- 販売価格上昇、スクラップ価格の下落によりスプレッドは改善
- 電力・ガス価格の上昇により燃料コストは悪化



連結貸借対照表

- 自己資本比率 : 2023/3末 65.1% 2023/6末 66.7%
- Net有利子負債残高 : 2023/3末 ▲65億円 2023/6末 ▲74億円

(億円)

		2023/3末	2023/6末	増減
資産の部	現預金	168	175	+7
	売上債権	454	454	+0
	棚卸資産	348	329	▲ 19
	有形固定資産	449	451	+2
	その他	69	72	+3
	資産合計	1,488	1,482	▲ 6
負債の部	仕入債務	220	221	+2
	有利子負債	103	101	▲ 2
	繰延税金負債	40	40	+1
	諸引当金	46	39	▲ 7
	その他	111	92	▲ 19
	負債合計	519	494	▲ 25
純資産の部	株主資本	933	950	+17
	その他	36	38	+2
	純資産合計	969	988	+19
負債純資産合計		1,488	1,482	▲ 6

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。